

## 「問題」「解答・解答例等」「出題の意図」

選抜区分	2026年度（選抜区分：一般選抜 前期日程） 地域創生学群 地域創生学類（科目名：集団討論）
<p>一般選抜入試では、地域社会の諸問題に強い関心を示し、探究心を持つ学生を求めている。地域創生学群では、求められている課題を的確に理解し、それに応じて自分の考えを明確に表現できること、地域の方々と協働していくための基本的なコミュニケーション能力を有していること、課題に対して主体的かつ積極的に関わろうとしていること等が重要になる。集団討論の評価のポイントは、これらの点に置いている。</p> <p>今回の一般選抜入試においては受験生が面接室に入室後に集団討論課題を提示する方式とした。課題の内容は下記のとおりである。</p> <div data-bbox="225 763 1366 1167" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"><p>近年、夏の気温が上昇し、日中に屋外で過ごすこと自体が難しくなりつつあります。高温による熱中症のリスクが高まることで、外出や屋外活動を控えるよう呼びかけられる場面も増えています。その結果、年齢を問わず体を動かす機会が減少し、屋内で過ごす時間が長くなる傾向が見られます。また、冷房のある公共施設や安心して滞在できる場所へのアクセスには個人差があり、過ごし方の選択肢が限られる人もいます。</p><p>こうした状況を踏まえ、地域としてとるべき対策を複数あげ、それぞれを実現する上でのメリット・デメリットを考え、グループとして最適と思われる一つの対策を提案してください。</p></div> <p>本討論では、地域課題を踏まえて複数の対策を検討し、そのメリット・デメリットを比較した上で、グループとして最適な提案を導く力を評価する。具体的には、課題を適切に理解し根拠をもって意見を述べる力、他者の意見を引き出し整理しながら議論を深める協働的態度、異なる意見を踏まえて合意形成を図る力などを総合的に評価した。</p>	